

# 授業改善等に関する報告書（2025年前期）

## 授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Learning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を探っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2025 (前期) 生活文化学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
生活文化概論	島崎 あかね 井口 真美 井上 陽童 大澤 朋子 笠原 良太 作田 由衣子 高橋 桂子 田中 正浩 塚原 拓馬 野尻 美枝 水野 いづみ 八木 孝憲 渡辺 敏	各回の授業を通じて、先生方の専門領域を「生活文化」の観点から学ぶことができたのではないかと思います。 第6回を担当しましたが、生活と健康の関係について、自分だけでなく家族や社会の中でどのように関連付けて考えることができるか、日々の生活の中でさらに学びを深めてもらえたと思います。（島崎）
	生活文化史 a 火曜配信（日野） 笠原 良太	基礎学習が多く、退屈な内容だったので、わかりやすく、興味を持ってもらえるように工夫したい。
	ゼミナール（論理的判断とコミュニケーション） 島崎 あかね	今年度のゼミ生は、心理・幼保それぞれの専攻で構成されているので、実習の時期やゼミ以外の授業の時間割が異なっているので、前期はまずゼミ生同士の親睦を深めることを意識したつもりでした。 初めて「ゼミ活動活性化」の助成金を申請し採択されているので、11月の常磐祭に向けて形を作り上げながら、ゼミ活動を盛り上げていけるように後期も頑張りましょう。
	ゼミナール（論理的判断とコミュニケーション） 田中 正浩	アンケート結果を踏まえて授業を振り返ると、考え、議論することを中心据えた満足度の高い、さらに、新たな発見がある授業となるように工夫・改善が必要であると思われる。
	ゼミナール（論理的判断とコミュニケーション） 井上 陽童	アンケート回答が0でした。今後は、アンケート実施の周知を徹底します。
	ゼミナール（論理的判断とコミュニケーション） 井口 真美	後期には、保育園での交流も予定しています。 仲間と協力し、楽しく充実した活動を作り上げましょう。 キッザニアも楽しみですね。
	ゼミナール（論理的判断とコミュニケーション） 大澤 朋子	前期おつかれさまでした。後期も活動的にがんばりましょう。
	ゼミナール（論理的判断とコミュニケーション） 八木 孝憲	より学生が主体となったゼミナール運営を徹底すべく、学生間および学生教員間で問題意識を共有し、地域連携の強化・クリティカルシンキングの涵養を目指し今一度年度計画の改善を図りたい。
	ゼミナール（論理的判断とコミュニケーション） 高橋 桂子	前期の総括が、秋の日本経済教育学会での口頭発表です。実践女子大学はしっかり勉強している、そんな印象を参加者の皆さんに抱いてくれると思います。正直に誠意をもって口頭発表してください。
	ゼミナール（論理的判断とコミュニケーション） 水野 いづみ	各自忙しいなか、しっかりと授業に取り組めていました。通年授業なので、後期もこの調子でがんばりましょう。
生涯発達心理学 a	ゼミナール（論理的判断とコミュニケーション） 野尻 美枝	通年科目のため、後期にコメントいたします。
	ゼミナール（論理的判断とコミュニケーション） 笠原 良太	通年評価なので、前期分だけのアンケートがあると思っていませんでしたが、ポジティブな評価が多くてよかったです。ゼミ生が積極的に参加していくおかげです。後期もこの調子でお願いします。もっといろいろチャレンジする場にして下さい。 評価基準の質問があったので、回答します。上記のとおり、積極性（関心・意欲・態度）に加えて、年度末のゼミ論をもとに評価します。詳細は後期にお知らせします。
	ゼミナール（論理的判断とコミュニケーション） 渡辺 敏	授業評価ありがとうございます。頂いた評価を来年度の授業に活かしたいと思います。
家庭教育論 木曜配信（日野）	塚原 拓馬	授業内容と全体評価について、概ね4.3以上の評価を頂いた。 大人数の授業であるが、双方向性を叶えるための工夫をさらにしていきたい。
教育・学校心理学	水野 いづみ	各自が自分なりに課題に取り組むことができていました。以降の学習の基礎力となればと思います。
生涯発達心理学演習 a	八木 孝憲	学生の自己評価の低さが顕著に表れていることから、講義内外においてポジティブな声掛け等を丁寧に行い、学習態度等への前向きな評価を都度おこないたい。
	塚原 拓馬	回答者がいなかつたため、今後は積極的に回答を促していきたい。

[2025（前期）生活文化学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
臨床心理学1（臨床心理学概論）	八木 孝憲	臨床心理学に限らず、様々に関連する最新のトピックスを講義内で紹介するよう努め、多角的な視点から考察する態度が涵養されたものと考える。課題として、事前事後学習の時間が少ない学生が多数いたため、適切な分量の課題を設定するなど工夫をしたい。
教育学概論	田中 正浩	アンケート結果を踏まえて授業を振り返ると、授業内容及び方法のより一層の工夫・改善が必要であると考える。受講生にとって新たな発見があり、より満足度の高い授業になるよう努めていきたい。